

警察署協議会会議録

田川警察署協議会

開催年月日時	令和7年5月13日 午後4時30分 から 令和7年5月13日 午後5時40分 まで	
開催場所	田川警察署 会議室等	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、地域管理官、刑事管理官、 総務課長、生活安全課長、交通課長、 警備課長
議 事 概 要		
【会長挨拶(要旨)】 4月から警察署協議会の会長を務めることとなった。 引き続き田川地区の安全安心のため少しでも貢献したいと考えているので、ご協力をお願いします。 【署長挨拶(要旨)】 今日の開催は、令和7年度の第1回目となるが、今春に協議会委員も警察署幹部も多くが入れ替わり、新たな体制となった。委員の皆様から貴重なご意見を賜りながら、より良い警察署運営を心掛けていきたいと考えているので、今後ともご理解とご協力をお願いします。 【報告事項等】 1 警察署協議会会長連絡会議の開催結果について（会長） (1) 令和7年福岡県警察運営指針 (2) SNS型投資・ロマンス詐欺予防対策 (3) 宗像警察署、戸畑警察署及び豊前警察署協議会の活動報告 2 田川警察署の令和6年中及び令和7年四半期における治安概況について（署長） (1) 刑法犯認知・検挙状況 (2) 重要凶悪犯罪の発生状況 (3) 性犯罪の発生状況		

議 事 概 要

- (4) ニセ電話詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況
- (5) 暴力団員等検挙状況
- (6) 交通事故発生状況
- (7) 飲酒運転による交通事故発生状況等
- (8) 少年事件刑法犯検挙補導人数等

3 「SNS型投資・ロマンス詐欺の手口」広報啓発動画の視聴

4 特殊詐欺の現状と被害防止対策について(生活安全課長)

- (1) ニセ電話詐欺(特殊詐欺)とは
- (2) SNS型投資・ロマンス詐欺とは
- (3) 令和6年の福岡県被害状況
- (4) 最近の詐欺被害状況の特徴
- (5) 国際電話の利用休止措置
- (6) LINEの遮断措置(設定方法)

【質疑応答】

- 会長から、「知人から、ロマンス詐欺の被害に遭ったことを聞き、詐欺被害の危険性が身近に潜んでいることを感じた。」「ロマンス詐欺の被害に遭っても、恥ずかしくて人に言えない人も多いと思われる。警察に被害申告できない心理状態を犯人側が利用しているように思う。」との意見があった。
- 委員から、「特殊詐欺の広報用動画については、ナレーターの話す速さや声の高さなどにより高齢者が聞き取りにくい面がある。内容が多すぎても、高齢者は理解できないのではないかと感じた。」との意見があり、生活安全課長から、「ご指摘のとおり、広報の対象が高齢者の場合、限られた時間内で伝えたい内容を多く詰め込み過ぎたり、動画内容の説明が早すぎて理解できないことが考えられることから、今後はその点を踏まえて実施していく。」旨の回答があった。
- 委員から、「最近、知人から、消費者金融から高額の請求を受けたとの相談を受けたが、高額バイトの詐欺被害だったらしく、バイトの登録手続きの中で、消費者金融3社から数十万ずつ借金させられていたようである。」旨の発言があり、生活安全課長から「若い年代の方は、インターネットに詳しいようであるが、相手を信用しやすく、言われたとおりに運転免許証などの個人情報を送信して詐欺被害あうケースが多い。」との説明があった。

更に、副署長から「アプリからパソコンやスマートフォンにウイルスを仕込み、

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要

中に入っているデーターを抜き取る手口は以前から多く発生している。」「アプリは、子供でも手軽にダウンロードすることができ、犯人が言葉巧みに指定したアプリをダウンロードさせ、そのアプリを使用してID、パスワードを入力させて、勝手に操作するという手口がある。」「手口は日々進化している現状にあり、信用させるため、あらゆる手口を使ってくるので注意してほしい。」旨の説明があった。

- 委員から「高額バイトの広告は、インスタグラムの広告で流れており、広告内容が拡散されている状況である。」「インターネットで投資している者の中には、自由に使える奨学金を使っている学生もいるようだ。」との発言があった。
- 委員から「働き方改革の進展により、様々な休暇制度が設けられている中で、休みのない警察署として、職場改革をどのように進めているのか。」との質疑があり、総務課長から「警察においても昨今の少子高齢化や労働人口の減少等の社会情勢の変化を受け、職員個々が置かれている環境や働き方が多様化しており、治安水準を低下させないことを大前提として、職員のワークライフバランスの確保と業務の合理化・効率化を推進することが必要不可欠となっている。」「ワークライフバランスの推進に関しては、福岡県警察におけるワークライフバランス推進と女性活躍のための行動計画を策定し、各種取組を行っており、田川警察署においても県警が定めた行動計画に基づき、時間外勤務状況の幹部確認、当直明けの早期退庁、連続休暇の取得促進等の取組を進めている。」「業務の合理化・効率化については、DX化や自動音声ガイダンスの導入等により、職員の負担軽減を図っている」旨の回答があった。

【閉会】

以上で、令和7年度第1回田川警察署協議会を閉会する。

様式第3号（第5、第6の1、第6の2関係）（その2）

議 事 概 要